

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）	施策の柱	健康づくり
------	----------------------	------	-------

●目指す姿

- 市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、運動、栄養、休養のバランスの取れた生活習慣を身につけ、主体的・積極的に健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸が図られています。
- 家庭・地域・学校等において、食を通じた心身の健康と豊かな人間性を育む取り組みが行われています。
- こころの健康に対する正しい知識を身につけ、市民それぞれが、自分にあったストレス解消法を身につけています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）日頃から、健康維持のために何かに取り組んでいる市民の割合	60.5% (H26)	-	62.4%	-	63.9%		UP	健康管理課	市民が主体的に健康維持・増進が図られるよう「健康のつどい」や健康ポイント事業等を実施していることにより、健康づくりの意識が高まっていると考える。	今後も健康づくりに対するきっかけづくりや、望ましい生活習慣の情報提供・実践方法などの普及啓発に努めていく。
（客）人口10万人当たりの三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡率（年間）	52.7% (H24)	52.0%	49.4%	49.4%	-		50.0%以下	健康管理課	目標値は達成しているものの、生活習慣病による死亡率はすぐに改善できるものではなく、若い年代からの取り組みが特に重要である。引き続き、目標達成できるよう生活習慣病の知識の普及や食生活の改善、運動の習慣化等についての健康講座や教室等が必要となる。	今後も自分の健康は自分で守り、つくることへの意識をもっといただくために生活習慣病の知識の普及や食生活の改善、運動の習慣化等についての講座等を提供していく。
（客）各種健康講座の参加者数（年間）	5,033人 (H25)	5,791人	6,265人	6,385人	5,771人		5,500人	健康管理課	H29年度まで実施していた一般健康教育（集団）を廃止し、新たに若い世代をターゲットにした健康教室に取り組んでいるが、年間参加者数は大きく減少している。目標値は達成しているものの、より多くの方に参加いただけるように努めていく。	正しい知識を持ち、自分に合った方法で健康づくりができるよう、健康講座等を開催していく。また、若い世代の参加者増進を図るため、子どもを通じて親世代の参加を呼びかけていく。

●施策の方向性①健康寿命の延伸に関する啓発

事業番号	41101	事業名	健康づくり啓発事業	担当課	健康管理課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	健康のつどい等を通じて、「自分の健康は自分で守り、つくる」ための望ましい生活習慣の情報提供や実践方法などの普及啓発に努め、健康寿命の延伸を図る。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 「家族で考えよう健康習慣～適切な食と運動で心も身体も健康に～」をテーマに「各務原市健康のつどい」の開催や、健康講話や健康相談、各種検査コーナーなどを年間を通じて開催し、自分の健康は自分で守り、つくることへの意識をもっといただく機会を提供している。また、H30年度より健康のつどいと同日に産業文化センターあすかホールにおいて、親子のスポーツテストを開催し、若い世代から健康づくりに関心を持って実践していけるよう、普及啓発に努めている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 事業への参加者の多くは高齢者であり、若い層の参加が少ないため、事業の周知や内容の見直しなどを行い、幅広い層の参加を促していく。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 新規参加者及び高齢者層以外への参加を呼び掛けるため、幼稚園や保育所へのチラシの配布、ポスターの掲示、広報やウェブサイトなどによる周知をしていく。</p>						

●施策の方向性②健康づくり活動への支援

事業番号	41201	事業名	健康づくり活動支援事業	担当課	健康管理課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	健康に関わるボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携し、健康講座、健康づくり教室の拡充を図る。 栄養教室や健康講座を通じて、健康づくりに対するきっかけを提供するとともに、健康増進の取り組みに対する正しい知識の普及啓発を行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 妊婦を対象にマタニティ広場を年間16回、ハッピー子育て講座を年間4回開催し、2歳児歯科教室での歯科保健教室、中学生を対象とした喫煙予防教室も行っている。また、ボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携した生活習慣病予防教室、健康福祉講座などを行っている。若い世代の参加が少ない傾向にあるため、平成30年度より小学3、4年生の親子を対象とした親子のスポーツテスト(6月、10月の2回開催)や親子ウォーキングGoGo!(10月、12月の2回開催)を新たに実施している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 健康に対する情報は、比較的容易に得やすいが、正しい知識で自分にあった方法で健康づくりを実施していくことが必要である。また、若い世代からの疾病予防が重要であるため、若い世代が参加しやすいような内容の見直し等を引き続き実施する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 講座の実施会場や開催内容の見直しを図るとともに、若い世代の親子が参加できるよう子どもを通じて親世代への参加を呼びかけていく。</p>						

●施策の方向性③食を通じた健康づくりの推進

事業番号	41301	事業名	食の健康推進事業	担当課	健康管理課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	食生活改善協議会等と連携し、食生活に対する正しい理解と望ましい習慣が身につけられるよう、食の重要性に関する意識啓発を地域で推進する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 各種事業や健診等で、健康や食生活について望ましい知識や習慣が身につくよう普及啓発をしている。また、連携先である食生活改善推進協議会においては、市民の栄養改善を目指してイベント等での啓発・相談事業など広く活動している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各種健診や教室等に参加しない、健康に関心の低い層に対する意識啓発が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 今後も広報紙や市ウェブサイト、栄養教室や特定保健指導など様々な機会を活用し、自身の健康について関心を持っていただくよう意識啓発を行っていく。また、毎年開催している健康のつどいにおいて食生活改善協議会と連携し、関心の高いテーマ(減塩・野菜ファーストなど)についての啓発活動(試食・リーフレットの配布など)や相談などを実施していく。</p>						

●施策の方向性④こころの健康の保持・増進

事業番号	41401	事業名	こころの健康推進事業	担当課	健康管理課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	悩みや心配をひとりで抱えこまないよう、こころの健康に関する相談窓口の周知やこころの健康の保持増進のための知識の普及啓発を図る。また、自殺対策の取り組みを推進していく。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 一人ひとりの命が尊重され、互いに助け合い、支え合うまちの実現を目指し、自殺予防対策を市民や関係機関、行政等が一体となり総合的に推進するため「各務原市のちえ支え合い計画(自殺対策計画)」を策定し、本計画に基づき、こころの健康づくり講演会や相談窓口の周知等を実施している。こころの問題は、本人や家族だけでなく、地域や職場などが、こころの不調に早く気づき、適切な対応することが重要である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 こころの問題を早期に自覚・発見し、適切な対処ができるよう正しい知識や相談機関先の普及啓発を図る必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 こころの健康に関する相談窓口について、市のウェブサイトをはじめ、広報、チラシ等で幅広く周知していく。また、本人はもちろん、家族や職場、地域が、こころの不調に早く気づき、適切な対処ができるよう講演会やチラシ等で知識の普及啓発を図っていく。 保健・医療・福祉・教育・労働等の行政機関、関係団体等で構成される自殺対策連絡協議会を設置し、自殺対策の推進を図っていく。</p>						

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）	施策の柱	保健・予防
------	----------------------	------	-------

●目指す姿

- すべての市民が、各年代の特徴を活かした保健予防活動を行い、効果的な健康増進が図られています。
- 歯と口腔の健康について正しい知識を持ち、生涯にわたって歯を健康に保つための活動に取り組んでいます。
- 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると、子どもが健やかに育つ環境が整備されています。
- 新たな感染症に対する適切な予防対策がとられており、不安なく生活することができます。
- 身近なところでいつでも健康相談ができます。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) 定期的に健康診査を受けている人の割合	71.4% (H26)	-	69.1%	-	75.8%		UP	健康管理課	生活習慣病の早期発見・治療及び重症化予防のために、健康診査やがん検診を実施や、個別勧奨通知の工夫や集団検診のウェブ予約を開始するなど受診率の向上に努めたことにより数値が上昇していると考え。	個別勧奨対象者を増やし、勧奨方法を開封率の高い圧着葉書にするなど、受診率の向上に向けた効果的な方法を検討し実施していく。
(客) 特定保健指導実施率 (年間)	15.6% (H24)	15.0%	14.1%	22.1%	16.7% (見込)		35.0%	医療保険課・健康管理課	H30年度の実施率はH29年度と比較して下がる見込みとなっている。特定保健指導未利用者に対して、電話での勧奨は実施したが、直接訪問による勧奨が十分にできなかったのが原因として考えられるため改善していく。	特定保健指導未利用者勧奨事業の対象者を増やし、勧奨方法を実施率の向上に資する訪問等を行うとともに、初回保健指導の候補日を増やすことで実施率の向上を目指していく。
(客) 40歳代及び50歳代の歯周疾患検診の受診率（年間）	6.0% (H25)	4.1%	2.7%	2.8%	4.7%		9.0%	健康管理課	検診の個別通知の封書を、がんクーポン券や他の健診等の情報と同封したことにより、受診率が向上したと考える。	歯と口腔の健康と全身疾患との関連性を啓発し、乳幼児健診の保護者やがん検診等受診者への積極的な受診勧奨を行っていく。

●施策の方向性①生活習慣病等予防の推進

事業番号	42101	事業名	生活習慣病予防事業	担当課	健康管理課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	健康診査やがん検診等について、誰もが受けやすい健診となるよう実施方法、期間などの工夫を図り、疾病の早期発見・早期治療に努める。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 各種健診やがん検診の受診率向上のため、チラシの全戸配布、乳幼児健診時の保護者への勧奨、協会けんぽや生命保険会社との連携協定による顧客への勧奨、がん検診無料クーポン券や未受診者への個別勧奨通知、がん検診と特定健診等との同時実施、大腸がん検診受診率向上補助金事業、健康ポイント事業、がん検診(集団)のウェブ予約を開始などを実施している。また、健(検)診後の保健指導について、特定保健指導や生活習慣病予防教室、健康相談、訪問指導等を実施し疾病の早期発見・治療に努めているが、受診率や受診後の保健指導実施率は伸び悩みが見られる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各種健(検)診の受診者や特定保健指導の実施者の増加に向けた効果的な取り組みが必要である。 国の指針に基づいたがん検診を実施するには、がん検診の精度管理が重要であるため、精度管理項目を遵守できるよう検診体制の整備を行うとともに、精密検査未受診者に対しては確実な受診に結び付ける必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 各種健診やがん検診の受診者の増加を図るため、令和元年度より勧奨方法を封書から開封率が高く対象者の目につきやすい圧着葉書へ変更するとともに、引き続き岐阜県と協力して健康ポイント事業を実施していく。 がん検診の精度管理を図るため、精度管理項目が遵守できるようチェックリストを活用した体制の見直しを行うとともに、精密検査の未受診者に対し受診勧奨を継続して実施していく。 特定保健指導対象者の実施率向上のため、未利用者について個別通知や家庭訪問、電話などによる更なる利用勧奨を引き続き進めていく。</p>						

●施策の方向性②歯の健康の保持・増進

事業番号	42201	事業名	歯科保健事業	担当課	健康管理課	事業評価	あまり順調に進んでいない
事業概要	生涯を通じて、健康な口腔を維持できるよう、各年齢層に応じた歯科検診・歯科健康教育・歯科相談を実施し、歯科(口腔)保健サービスの推進を図る。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 各保健事業等の機会を通して、乳幼児期の成長発達に伴う口腔機能の育成支援及び歯と口腔の健康と全身の健康の関連性の啓発を行っている。また健康手帳、歯の健康手帳(幼児から学齢期)等を活用した定期的な歯科検診受診により、歯と口腔の健康管理を周知している。40歳代及び50歳代の歯周疾患検診の受診率が目標値に対して下回っているため、個別通知方法等の周知方法の見直しが必要となる。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各歯科保健事業を通して、幼児期から家族そろって「かかりつけ歯科医」を持つことを啓発しているが、成人期以降に、継続的な定期歯科検診に繋がる健康教育を効果的に実施することが課題である。 定期的な歯科口腔管理を促すことは高齢期における口腔機能を維持し、フレイル対策(正しく介入することによって状態が改善する)に繋がるため、歯周病検診勧奨はがん検診等の受診勧奨と同時に実施することが必要となる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 令和元年度より、開封率が高く対象者の目につきやすい圧着葉書による受診券の一斉送付を実施し歯科検診の受診率の向上を目指すとともに、歯と口腔の健康と全身疾患との関連性を啓発した生活習慣病予防対策も推進していく。 乳幼児健診の保護者やがん検診受診者等への歯周病検診の受診勧奨を引き続き行っていくとともに、医療機関・公共施設等幅広く歯科口腔の定期健診の重要性について、受診勧奨の再通知や自治会回覧による周知・啓発を継続して実施していく。</p>						

●施策の方向性③母子保健の充実

事業番号	42301	事業名	母子保健推進事業	担当課	健康管理課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>誰もが安心して出産・育児が行なえるよう妊娠期から子育て期の健康診査や健康相談等の充実を図り、子育てに関する正しい知識・情報を提供し、家族が協力しあって子育てをすることの楽しさ・重要性を啓発する。</p>						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】 マタニティ広場の一部を助産師会と連携し、妊娠期から妊娠・出産・育児に関する知識・情報の提供と不安の軽減に努めている。父親の参加が増え、妊娠・出産・育児への関心が高まっており、育児の参加につながっている。 また、第1子全戸訪問をはじめ、乳幼児健康診査や健康相談等において、支援が必要な方の早期発見・早期治療や育児の支援に努めている。 乳幼児健康診査の未受診者に対しては、母子保健推進員の受診勧奨などにより、高い受診率(H30:96.6%)を維持している。 妊娠・出産・育児に関して継続的な支援が必要なケースに対しては、平成30年4月開設した母子健康包括支援センターが総合相談窓口として、子育て支援課等の関係機関と連携しながら、継続的な支援を行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 母親の疾患や家庭環境等により、妊娠・出産・育児に対する関心や知識の少なさ、育児に対する不安などにより、適切な育児ができず、継続的な支援が必要なケースが増えている。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 母子健康手帳の交付時やマタニティ広場の講座にて、健診、相談等の周知を積極的に行うとともに、継続的な支援が必要なケースに対しては、母子健康包括支援センターが中心となり、子育て支援課等の関係機関と連携しながら相談者に寄り添った支援を進めていく。</p>						

事業番号	42302	事業名	不妊治療費助成事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	晩婚化により不妊治療を行なう夫婦が増加傾向にある。子どもを産み育てたい夫婦の経済的、精神的負担の軽減を図るとともに、妊娠・出産することで、少子化対策に努める。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 一般不妊治療の約半数は特定不妊治療へ移行しており、特定不妊治療の申請者は年々増加している。特定不妊治療は、複数回治療する者も多く、治療費が高額なことから、今後も上乗せ助成を継続することで経済的、精神的負担の軽減を図っていく。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 不妊治療を行うことに悩んでいる夫婦に対して、市及び県が実施する助成事業を周知していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 市及び県が実施する不妊治療及び治療費の助成や県が実施する不妊治療相談等の情報をウェブサイトや広報紙、女性の健康相談等で引き続き周知していく。</p>								

事業番号	42303	事業名	母子健康包括支援センター事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	母子健康包括支援センターを開設し、すべての妊産婦、乳幼児等の状況を継続的に把握し、妊娠や出産、育児に関する様々な悩みなどに対して相談、助言を行い、適切な支援を提供できるよう関係機関と連携・調整を図るなど、切れ目のない支援体制を構築する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 すべての妊産婦及び乳幼児とその保護者を対象に、母子保健施策と子育て施策を一体的に提供することを通じて、妊産婦等の健康の保持増進に関する包括的な支援を実施するため、平成30年4月に「母子健康包括支援センター(クローバー)」を健康管理課内に開設している。妊娠届出時等に、母子健康包括支援センターのPRチラシを配布し、妊娠期から子育て期までの総合相談窓口であることを周知している。専用ダイヤルには、育児相談等が入り、また「話を聞いてほしい」と直接来所される方も増え、母子健康包括支援センターは市民にとって身近な相談場所であることが少しずつ周知されている。 手厚い支援が必要な家庭については、支援プランを策定し、関係機関と連携し包括的に支援を実施しているが、出産後に支援者がいない家庭や出産後精神的に不安定な方等への早期支援サービスが十分でない。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 妊娠期から子育てまでの一貫した相談窓口として、気軽に利用してもらえるよう、市民に対する周知をさらに行っていく必要がある。 産後早期に身体的・精神的に不安定な母親の回復や授乳の指導、育児不安軽減のための支援を行う産後ケア事業の実施を検討する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 引き続き、妊娠・出産・子育て期の相談窓口として母子健康包括支援センターの周知に努めていくとともに、産後ケア事業の実施に向けて他市町村の実施状況や内容等の調査を実施していく。</p>								

●施策の方向性④感染症予防対策の推進

事業番号	42401	事業名	感染症予防対策事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症の発生・まん延を防ぐ予防接種を実施する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症発生・まん延防止のための各種予防接種を行っている。また、乳幼児健診などで、接種の確認・勧奨を行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 幼児期以降の予防接種については、短期間での継続した予防接種ではなくなるため、親の意識により接種率が低くなる傾向があり、未接種者を対象とした個別勧奨が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 予防接種を実施していない方に対しては、個別に勧奨通知を行うとともに、乳幼児健診・相談・家庭訪問などにおいて継続して説明・勧奨を行っていく。</p>								

●施策の方向性⑤健康づくりを支援する環境の整備

事業番号	42501	事業名	保健相談センター運営事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	市民が身近な場所で健康相談や健康に関する情報を知ることができるように、相談拠点の整備、機能強化を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 市民の健康づくりを支援する東部地区の拠点である東保健相談センター開設(平成29年4月)に伴い、総合福祉会館との2拠点体制で本格的に健診・相談等各種保健事業を実施している。同施設には、子ども館や鶴沼市民サービスセンターも併設されており、市民の利便性も向上している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 市民が主体的に健康維持・増進が図られるように、身近な相談場所、健康に関する情報が得られる場所として、引き続き市民に周知していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 総合福祉会館と東保健センターでの各種健診・相談事業を継続的に実施していくとともに、広報紙、ウェブサイト、個別訪問、検診の受診勧奨の際など様々な機会を通じて周知を行っていく。</p>								

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）	施策の柱	地域医療
------	----------------------	------	------

●目指す姿

●必要な時に、必要な医療を受けることができる環境が整っており、安心して生活を送ることができます。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) かかりつけ医がいる市民の割合	57.5% (H26)	-	55.6%	-	60.2%		UP	健康管理課	市が実施する健(検)診等において、「かかりつけ医」を持つことの有用性について啓発していることにより、数値の上昇に繋がっている。	今後も機会を捉えて啓発をしていくことで、かかりつけ医がいる市民の割合を高めていく。
(客) 市内医療機関で訪問診療を実施している医療機関の割合	71.3% (H26)	71.3%	75.3%	74.8%	75.9%		75.0%	健康管理課	県の地域医療計画において、在宅医療が推進されており、市内医療機関においても、訪問診療を行う割合が少しずつ増えてきている。	今後も在宅医療への転換が進んでいくと思われるため、訪問診療の実施を医師会等と協力して進めていく。

●施策の方向性①かかりつけ医制度の推進

事業番号	43101	事業名	かかりつけ医普及・啓発事業	担当課	健康管理課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	日常的な健康管理や疾病予防、健康に対する相談ができる身近な医師である「かかりつけ医、かかりつけ歯科医」の普及・定着を図る。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 市が実施する各種健(検)診等の受診の機会を通じて、市民へ「かかりつけ医」を持つように啓発しており、かかりつけ医がいる市民の割合も前回と比較して上昇している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 疾病の早期発見や重症化予防に資するため「かかりつけ医」を持つことの有用性をより浸透させていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 医療機関や関係部署と連携し、市が実施する各種健(検)診等の受診の機会を通じて、「かかりつけ医」を持つことの有用性について啓発を引き続き実施していく。</p>						

●施策の方向性②救急医療体制の充実

事業番号	43201	事業名	休日急病診療体制充実事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	休日でも安心して医療を受けられるように、休日急病診療所及び休日在宅歯科診療当番制の運営を行うとともに、県や近隣自治体と連携し、救急時の医療体制確保に努める。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 市医師会・薬剤師会の協力により休日急病診療所を開設し、また、歯科医師会の協力により在宅当番医制で歯科診療所を開設し、休日における救急医療体制の確保を行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 今後も安定した休日診療体制を整え、継続して運営していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携を図りながら、安定した休日診療体制を整え運営を継続していく。</p>								

事業番号	43202	事業名	東海中央病院改築助成事業	担当課	健康管理課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	市民病院的役割として、また二次病院として高度な医療が提供できる東海中央病院の活用が促進されるよう、地域医療環境の整備を促進する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 公的病院としての性質を担う東海中央病院の施設・設備改築事業に対し、平成19年度に締結した「公立学校共済組合東海中央病院の増改築に関する協定書」に基づき、財政的支援(負担金)を継続的に実施している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 地域における市民の医療に対する不安解消や、良質な医療を提供するための地域医療体制を維持していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 協定書で定めている期間(H19～R1)まで、東海中央病院への支援を継続していく。</p>								

●施策の方向性③地域医療体制の整備

事業番号	43302	事業名	各務原市准看護学校支援事業	担当課	健康管理課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	市内医療機関の看護師体制の充実を図るため、准看護師の育成を目指す各務原市医師会准看護学校の運営を支援する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 地域医療の充実に貢献するため、准看護師の育成を行っている各務原市医師会准看護学校に対し、運営に係る支援(補助金)を継続的に実施している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 全国的に看護師不足となっている中で、市内医療機関の医療体制を維持していくためには、より多くの卒業生が市内の医療機関に従事するよう働きかけをしていく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 准看護学校に対して、進路指導などの機会において市内医療機関の求人情報の提供など、市内の看護師体制の充実を図るための働きかけをするよう今後も要請していくとともに、運営に係る支援を継続的に実施していく。</p>						